

令和3年度 第1回 焼津市障害者自立支援ネットワーク全体会 意見等集約表

3 令和2年度焼津市障害者等相談支援事業活動報告について

生活支援センターわおん		
構成員	意見等	事務局回答等
静岡県中 西部発達 障害者支 援センタ ーCOCO	支援からみえる課題と具体的対応への道筋が具体化されているため、その内容を他の相談支援事業所とも共有しながら本市の相談支援体制の向上を期待します。→相談支援部会等で協議共有するのでしょうか。	基幹相談支援センターや他委託事業所とも協働し、相談支援部会での取り上げ方や取り組み方を検討し、協議共有していきたいと考えています。
焼津市社 会福祉協 議会	資料P14、相談支援方法の「その他」の件数が突出して多いが、具体的にはどのような支援方法か。	昨年度は退院支援の際、コロナ感染予防対応のため、本人が外出できないことでの買い物や手続き等の代行が増加。退院後、独居生活を送る利用者支援が増加しました。

暁		
構成員	意見等	事務局回答等
静岡県中 西部発達 障害者支 援センタ ーCOCO	課題と対応にある、サービス提供の量的不足とニーズ供給のギャップをどうしていくかをあらためて整理する必要があるのでしょうか。この点の課題整理の必要性に関してはいかがでしょうか。	次回焼津市自立支援ネットワーク協議会において課題事項として提言し、課題を共有する予定です。その他、サービス利用検討時に事業者や医療機関にも現状のご理解をいただくほか、適正なサービス支給量についてのご理解をいただけるよう、啓発します。

焼津市社会福祉協議会		
構成員	意見等	事務局回答等
静岡県中 西部発達 障害者支 援センタ ーCOCO	対応ケースはまさに社協がフィールドとする複合的な課題であるため、法人内ネットワークから多職種協働が可能だと思われま す。それらをコーディネートする相談員のスキルアップが、相談数の増加に結びついていくのか、次回の報告に期待します。	実際に複合的課題のあるケース対応は増えてきており、多職種連携やそれらをコーディネートする力は求められていると感じております。 法人では、高齢者から子どもまで対象とした活動を行っているので、係会議や課内会議を中心に、他の担当者と連携していくことは、職員間の共通認識としています。今後、機能させていけるようコーディネートする力をつけていきたいと思ひます。

全体		
構成員	意見等	事務局回答等
東益津福祉会	訪問が基本であり、各事業所共に多くなっており、良いと思う。利用者は精神障害が多い。今後もその傾向となるため、取組みをどのように提言していくのか。	ご意見ありがとうございます。 委託調整会議にて共有し協議してまいります。
静岡福祉大学	相談支援専門員の研修・スキルアップについては、なかなか解決が難しい課題も多いですが、市内、または、圏域等で事例検討会を開催するのもよいかもしれません。	ご助言ありがとうございます。 コアケース等の事例検討について、他市町の情報を知り、スキルアップに繋がるよう圏域相談部会に提言してまいります。
静岡県中西部発達障害者支援センターCOCO	各事業所の数量に差異がある考察があればと思います。市全体の相談体制であるため、事業所の強みや特徴を活かしながら全体で6,000件を超える相談内容にチームとしてどう対応していくかが今後基幹機能を含めた体制整備の肝であると考えます。	ご助言ありがとうございます。 市内ケースを3事業所で対応するため、各法人の特色を生かし必要な利用者支援が行き届くよう体制整備を進めてまいります。 また、その方法については調整会議にて検討してまいります。
焼津市社会福祉協議会	資料P26、委託調整会議結果の計画相談の中におおんの記載がないが、受けない理由はあるのか。	委託調整会議内で受けた新規計画作成はありませんでしたが、その他からの依頼で令和2年度は、新規計画を1件契約しています。全体の契約件数が多いため、新規契約は難しい状況にはありますが、その反面、児童の計画が作成できる事業所が少ないため、おおんにおいて、委託セルフ計画作成が増加しています。